

平成22年度日本医学図書館協会近畿地区会  
日本薬学図書館協会近畿・中四国・九州地区協議会  
近畿病院図書室協議会共催シンポジウム

# 診療ガイドラインと図書館の かかわり



京都大学大学院 医学研究科  
薬剤疫学分野

樋之津史郎

hinotsus.shiro.2x@kyoto-u.ac.jp  
<http://square.umin.ac.jp/kupe/>



# 簡単な自己紹介

---

- 1987年 3月筑波大学医学専門学群卒業
- 1987年 6月より筑波大学泌尿器科レジデント
- 1989年 4月より3年間 関連病院で研修
- 1992年 4月より1年間筑波大学チーフレジデント
- 1993年 4月より1年間 筑波学園病院
- 1994年 4月 東京大学医学部疫学・生物統計学 研究生
- 1994年データベース検索技術者(サーチャー) 2級合格
- 1995年 同上 1級 学科試験合格するも試問で落ちる
- 1997年11月よりHS振興財団リサーチレジデント
- 2000年4月より東京大学薬剤疫学助手
- 2002年6月より筑波大学 腎泌尿器外科 講師
- 2008年9月より京都大学 薬剤疫学分野 准教授

# 文献検索との出会い

---

- 筑波大学 5年生の耳鼻科実習中(1985年)  
受け持ち患者さんの疾患に関する論文を  
Index Medicusで検索し抄読する課題  
→「なんて便利なものがあるんだ！」と感激
- 院外研修中の1989年、電話回線で筑波大学の  
情報処理センターに接続EMBASEを検索していた
- その後、筑波大学医学図書館ではCD-ROM版の  
MEDLINE導入  
学内ネットワークで共有する時代からPubMedへ

# データベース検索技術者(2級)

---

- 1994年、東大の研究生になった年
- 自分の文献検索能力の確認と、さらに広い知識を得るため1級取得をもくろむ(2級に合格しないと1級受験資格なし)
- 「データベース検索技術者認定試験(2級)」受験
- 次の年1級を受験  
学科試験合格 その後の  
試問で不合格
- 2003年から「情報検索応用能力試験2級、1級」になった

# 診療ガイドラインとのかかわり

---

- 前立腺癌診療ガイドライン作成にかかわる  
文献探索・構造化抄録担当委員
  - 東邦大学メディアセンター 山口直比古先生のご協力
- 腹腔鏡手術ガイドライン  
文献検索・評価支援班(小委員長:原勲先生)
  - 東邦大学 山口直比古先生、樋之津が委員
- 精巣腫瘍診療ガイドライン
- 膀胱癌診療ガイドライン  
いずれも文献検索担当
  - 日本医学図書館協会のご協力
  - 日本医科大学図書館 殿崎正明先生を中心に支援頂く

# 現在進行中の作成班

---

- 腎癌診療ガイドライン 改訂
- 尿路結石診療ガイドライン 改訂  
いずれも文献検索担当
  - 日本医学図書館協会のご協力
  - 聖路加国際病院教育・研究センター 河合富士美先生
  - 奈良県立医科大学 鈴木孝明先生 ご担当
- 前立腺癌診療ガイドライン 改訂  
10月28日に第2回班会議予定 その後文献検索

# 膀胱癌診療GL作成の手順

---

1. ガイドライン作成委員会発足、分野決定
2. Clinical questionおよびKey wordの設定
3. 文献検索
4. ガイドライン原案の作成(文献の適宜追加)
5. 作成委員間での意見交換
6. 修正、加筆を行い初稿を作成
7. 評価委員によるreview
8. 評価委員の意見を参考に修正
9. 本文および引用文献リストの完成
10. 構造化抄録の作成(引用した文献のみ)
11. 公開

# 文献検索 (前立腺癌診療ガイドライン 作成の場合)

---

- Key wordを基に検索式を設定

検索式の設定は東邦大学メディアセンター山口直比古先生の  
助言をいただき、PubMedのみ検索

(データベースを限定)

- 検索式の一例 (診断)

("Prostatic Neoplasms"[MAJR] AND "Mass Screening"[MAJR]) OR ("Prostatic  
Neoplasms"[MAJR] AND "Prostate-Specific Antigen"[MAJR])

OR ("Prostatic Neoplasms"[MAJR] AND "Biopsy"[MAJR])

OR ("Prostatic Neoplasms"[MAJR] AND "Neoplasm Staging"[MAJR])

OR ("Prostatic Neoplasms/diagnosis"[MAJR:NoExp])



# 文献検索 (前立腺癌の場合の特殊性)

---

- 全文献を対象にすると膨大な文献数になる→効率と文献入手のことを考慮し雑誌26誌を選択した(雑誌を限定)。
- 泌尿器科9誌 (Prostate, Urology, J Urol, Eur Urol, Int J Urol, 日泌会誌, BJU Int, 泌尿紀要, Urol Clin North Am)
- 腫瘍10誌 (JNCI, Cancer Res, Cancer, Clin Cancer Res, JCO, Ann Oncol, etc)
- 放射線治療3誌 (Radiology, Int J Radiat Oncol Bio Phys, Radiother Oncol)
- 総合医学誌4誌 (JAMA, BMJ, Lancet, N Engl J Med)
- 上記雑誌はすべてPubMedに収載
- 医中誌は検索せず(重複のチェックなどがむずかしいため)

# 文献検索後(前立腺癌での経験)

---

- ヒットした論文を各分野(診断、放射線治療など)に分けて整理
- 各分野の小班に依頼し本文に引用する文献選択
- 構造化抄録の作成に関しては班員だけでは処理できないため日本泌尿器科学会を通して全国の大学にボランティアを募った(最終46施設317名のボランティアを確保することができた)。

# 構造化抄録 (Abstract Form)

|         |  |
|---------|--|
| Title   | Radical prostatectomy versus watchful waiting in early prostate cancer. .  |
| Author  | Bill-Axelsson, A. Holmberg, L. Ruutu, M. Haggman, M.   |
| Journal | N Engl J Med 2005;352(19):1977-84.   |
| PT      | Clinical Trial, Journal Article, Multicenter Study, Randomized Controlled Trial  |
| 目的      | 北欧での大規模な待機療法とRRPとのランダム化試験<br>2002年にNEJMに発表された臨床試験の追跡期間が延長されたもの   |
| デザイン    | 無作為化比較試験   |
| 対象      | 1989年から1999年まで695名の臨床病期T2以下、PSA<50ng/ml、低分化型腺癌を除く695名を待機療法（348名）とRRP（347名）にランダムに割り付けた。   |
| 評価項目    | 疾患特異的生存率および全体生存率   |
| 主な結果    | 平均観察期間は8.2年。死亡数はWW：106名、RP：83名で有意差は認められた(p=0.04)、癌死はWW：50名（14.4%）、RP：30名（8.6%）でrelative riskは0.56（p=0.01）であった。遠隔転移のrelative riskは0.60（p=0.004）で局所浸潤のrelative riskは0.33（p<0.001）であった。 |
| 結論      | RRPは中-高分化型限局性前立腺癌患者の疾患特異的生存率および全体生存率を改善した。   |
| Level   | II   |
| コメント    | ここで言う待機療法とは待機の後でホルモン療法を施行する遅延内分泌療法を意味し、最近の待機療法の意味とは異なるので注意が必要。   |

# 構造化抄録入力用エクセルファイル

| 1 | 2  | 3   | 4   | 5   | 6     | 7  | 8             | 9  | 10  | 11  | 12   | 13       | 14   | 15  |
|---|--|---|---|---|-------|--|---------------|--|---|---|--|----------|--|---|
| 1 | Title  | Authors   | Source  | PT  | RefNo | 目的   | 研究デザイン        | 対象者  | アウトカム評価項目                                       | 主な結果  | 結論   | エビデンスレベル | クリニカルクエスト  | クリニ   |
| 1 | A randomized, placebo-controlled trial of zoledronic acid in patients with hormone-refractory metastatic prostate carcinoma.   | Saad F, Gleason DM, Murray R, Tchekmedyian S, Venner P, Lacombe L, Chin JL, Vinholes JJ, Goas JA, Chen B  | J Natl Cancer Inst 2002 Oct 2;94(19):1458-68. | Clinical Trial,Journal Article,Randomized Controlled Trial                    | 40267 | 新しいビスホスホネート製剤のzoledronic acidが、骨転移を有する前立腺癌患者における骨関連有害事象の発生を抑制するかどうかを検討すること。      | 無作為化比較試験      | 骨転移を有する内分泌不応性前立腺癌患者をzoledronic acid 4mg投与群214例とzoledronic acid 8mg投与群(同じく同じ4mgに減量)221例、さらにplacebo投与群208例に無作為に分け、それぞれ3週ごと15ヶ月間投与した。 | 骨関連有害事象の発生頻度と最初の有害事象発生までの期間、疼痛スコア、病勢進行率、安全性。    | Zoledronic acid 4mg投与群では骨関連有害事象の発生率がplacebo投与群と比較して有意に低かった(44.2%対33.2%, p=0.02)。また50%の患者に最初の有害事象が発生するまでの期間も、4mg投与群でplacebo投与群よりも有意な延長効果が見られた(420日以上対321日、p=0.01)。8/4mg投与群とplaceboの比較では、有意差は見られなかったが、骨関連有害事象の発生率は低 | Zoledronic acid の4mg投与は骨転移を有する前立腺癌患者の骨関連有害事象を軽減させた。                                  | II       | Q1 骨転移を有する内分泌不応性前立腺癌に対するzoledronic acid投与は予後を改善させるか？<br><br>Q2 骨転移を有する内分泌不応性前立腺癌に対するzoledronic acid投与は骨関連有害事象を改善させるか？                        | A1 Zoledronic acid投与群と比較して上昇する生存期間認められない<br><br>A2 Zoledronic acid投与する前立腺癌患者は骨関連有害事象、最初発生する有害事象 |
| 2 | A randomised comparison of bicalutamide (Casodex) 150 mg versus placebo as immediate therapy either alone or as adjuvant to standard care for early non-metastatic prostate cancer. First report from the Scandinavian Prostatic Cancer Group Study No. 6. | Iversen P, Tammela TL, Vaage S, Lukkarinen O, Loddning P, Bull-Njaa T, Viitanen J, Hoisaeter P, Lundmo P, Rasmussen F, Johansson JE, Persson BE, Carroll K                                | Eur Urol 2002 Sep;42(3):204-11.               | Clinical Trial,Journal Article,Randomized Controlled Trial                    | 40280 | 限局性もしくは局所進展性前立腺癌に対するbicalutamide単独療法、もしくは根治的治療後のbicalutamide補充療法の有効性と有効性を検討すること。 | 無作為化比較試験      | 限局性もしくは局所進展性前立腺癌症例に対して、標準的な局所療法(前立腺全摘除術、放射線療法、無治療経過観察)に加えてbicalutamide 1日150mg投与群607例とplacebo投与群611例に無作為に分けられた。                    | 客観的な病勢進行率と粗生存率                                  | 観察期間の中央値3年で、bicalutamide投与群でplacebo群と比較して非進行生存率は57%の改善がみられた(16.3%対29.3%、相対危険度0.43、95%CI 0.34-0.55, p<0.0001)。粗生存率は現時点で有意差はみられなかった。bicalutamide投与でみられた主な副作用は女性化乳房と乳房痛であった。Bicalutamide投与群の性活動は抑制されていたが、その差は軽度であった。 | 限局性もしくは局所進展性前立腺癌において、単独療法もしくは局所療法後の補充療法としてのbicalutamide 150 mg投与は有意に病勢の進行を抑えたと考えられた。 | II       | Q1 限局性もしくは局所進展性前立腺癌に対する局所療法後のbicalutamide補充療法は予後を改善させるか？<br><br>Q2 bicalutamide150mg投与で性活動は抑制されるか？   | A1 病勢に抑制作用はない。<br><br>A2 軽度   |
| 3 | Overview consensus statement. Newer approaches to androgen deprivation therapy in prostate cancer.   | Carroll PR, Kantoff PW, Balk SP, Brown MA, D'Amico AV, George DJ, Grossfeld GD, Johnson CS, Kelly WK, Klotz L, Lee WR, Lubeck DP, McLeod DG, Oh WK, Pollack A, Sartor O, Smith MR, Hart C | Urology 2002 Sep;60(3 Suppl 1):1-6.           | Consensus Development Conference,Journal Article,Review                       | 40297 | 2001年11月に行われた国際的な有識者による7つのコンセンサスで、前立腺癌に対する内分泌療法の新しいコンセンサスが検討された。                 | その他(専門委員会の報告) |  | 1)抗アンドロゲン単独療法、2)間断的内分泌療法、3)2次内分泌療法、4)局所治療後の補充療法 | 1)抗アンドロゲン単独療法はLHRHアナログと比較してQOLの改善が見込まれるが、高危険度群に対しては推奨されない。2)間断的内分泌療法は持続的治療と比較してQOLの改善が得られるが、生存期間に対する評価が出ていない。3)2次内分泌療法の有用性が示されている。4)放射線治療後の2-3年間の内分泌治療は高危険度群に対して有用である。前立腺全摘除術後の内分泌療法は術後内分泌療法は有用である。               | 現時点での前立腺癌に対する内分泌療法のコンセンサスが得られた。  | IV       | Q1 内分泌治療による副作用を軽減させる方法は？<br><br>Q2 現時点でのコンセンサスで、放射線治療後の内分泌治療の至適投与期間は？  | A1 抗アンドロゲン療法と間断療法<br><br>A2 2-3年  |
| 4 | Three-month neoadjuvant hormonal therapy before radical prostatectomy: a 7-year follow-up of a randomized controlled trial.  | Aus G, Abrahamson PA, Ahlgren G, Hugosson J, Lundberg S, Schain M, Schelin S, Pedersen K  | BJU Int 2002 Oct;90(6):561-6.                 | Clinical Trial,Journal Article,Multi-center Study,Randomized Controlled Trial | 40299 | 3ヶ月の術前内分泌療法が前立腺全摘除術の予後を改善するかどうかを検討すること。  | 無作為化比較試験      | 1991年12月から1994年4月までに126例の限局性前立腺癌症例を無作為に即時前立腺全摘除術施行群と3ヶ月間のLHRHアナログ投与後に前立腺全摘除術を行う群に分け、術後7年間経過観察を行った。                                 | 血清PSA測定を先行し、0.5ng/ml以上をPSA再発とした。                | 術前内分泌治療群では外科的切除術陽性率は45.5%から23.8%に減少した(p=0.016)。PSA非再発生存率は49.8%、即時全摘除術群で51.5%であり、有意差は認められなかった。   | 3ヶ月間の術前内分泌療法は、前立腺全摘除術後の予後を改善させなかった。  | II       | Q1 3ヶ月間の術前内分泌療法は前立腺全摘除術での外科的陽性率を改善させるか？<br><br>Q2 3ヶ月間の術前内分泌療法は前立腺全摘除術後のPSA再発率を低下させるか？<br><br>Q3 内分泌不応性前立腺癌に対してDESはflutamideと比較して有効性に違いはあるか？ | A1 3ヶ月術前療法は術後の外率を低下<br><br>A2 3ヶ月術前療法は術後のPSA再発率を低下<br><br>A3 PSA再発率がある延長は認められない。                |
| 5 | Prospective randomised trial comparing diethylstilboestrol and flutamide in the treatment of hormone relapsed prostate cancer.   | Burns-Cox N, Basketter V, Higgins B, Holmes S   | Int J Urol 2002 Aug;9(8):431-4.               | Clinical Trial,Journal Article,Randomized Controlled Trial                    | 40300 | 内分泌不応性前立腺癌に対するdiethylstilboestrol (DES)とflutamideの有効性を比較すること。                    | 無作為化比較試験      | 内分泌不応性前立腺癌28例をDES投与群16例とflutamide投与群12例に分けた。   | PSA奏効率と粗生存率、QOL評価と副作用調査。                        | DES投与群で有意にPSA奏効率が高かった(65%対35%, p=0.034)。生存率の中央値はDES投与群で18ヶ月、flutamide投与群で11ヶ月(有意差なし)。QOLと副作用  | 内分泌不応性前立腺癌に対して、DESはflutamideと比較して高いPSA反応率が認められ                                       | II       | Q1 内分泌不応性前立腺癌に対してDESはflutamideと比較して有効性に違いはあるか？   | A1 PSA再発率がある延長は認められない。  |

# Evidence Level

---

- I. 複数の無作為化比較試験のメタアナリシス、または複数の無作為化比較試験のエビデンス
- II. 少なくとも1つの無作為化比較試験のエビデンス、または複数のよくデザインされた非無作為化比較試験のエビデンス
- III. 少なくとも1つの他のタイプによくデザインされた準実験的研究のエビデンス、または比較研究、相関研究、症例比較試験など、よくデザインされた非実験的記述による研究
- IV. 専門委員会の報告や意見、あるいは有識者の臨床経験

(抗ガン剤適正使用ガイドライン作成委員会の基準)

# 構造化抄録作成

---

- 前立腺癌診療ガイドライン作成時は、検索結果ヒットした論文すべてに構造化抄録を作成した
- しかし、実際にガイドライン本文に引用された文献は1割にも満たず、多くの協力者に構造化抄録を作成してもらったところが律速段階になった
- 膀胱癌、精巣腫瘍、尿路結石改訂、腎癌改訂では構造化抄録作成は本文に引用された論文のみ
- 現在計画中の前立腺癌診療ガイドライン改訂でも同様の方針(予定)

# 腹腔鏡ガイドラインでの活動状況

---

## ● 文献検索

- 東邦大学メディアセンターに、平尾先生、原先生、山口直比古先生、樋之津が集まり
- 雑誌は限定せず検索式をつくり文献検索
- 検索式の妥当性を、直前にBJUに掲載されたreviewを参考にし、そのreviewに引用された重要と思われる論文が検索漏れになっていないことを確認
- PubMedと医学中央雑誌(医中誌Web)で検索
- 領域毎にダウンロード
- ダウンロードしたファイルを操作するツール開発

# 檢索結果

The screenshot shows the PubMed search interface. At the top, the NCBI logo is on the left, and the PubMed logo with the URL 'www.pubmed.gov' is in the center. To the right of the PubMed logo, it says 'A service of the National Library of Medicine and the National Institutes of Health'. In the top right corner, there is a 'My NCBI' button with 'Sign In' and 'Register' links.

The search bar contains the query 'laparoscopy OR laparoscop\* OR peritoneosc' and has buttons for 'Go', 'Clear', and 'Save Search'. Below the search bar are tabs for 'Limits', 'Preview/Index', 'History', 'Clipboard', and 'Details'. The 'Display' section shows 'Summary' selected, 'Show 20' items, and 'Sort by' and 'Send to' dropdown menus. The results summary indicates 'All: 51018' items and 'Review: 6215'. The page number is 'Page 1 of 2551'.

The search results are listed as follows:

- 1:** [Shakeri AB, Shane Tubbs R, Shoja MM, Pezeshk P, Farahani RM, Khaki AA, Ezzati F, Seyednejad F.](#) [Related Articles, Links](#)  
Bipolar supernumerary renal artery.  
Surg Radiol Anat. 2006 Oct 24; [Epub ahead of print]  
PMID: 17061029 [PubMed - as supplied by publisher]
- 2:** [Soubrane O, Cherqui D, Scatton O, Stenard F, Bernard D, Branchereau S, Martelli H, Gauthier F.](#) [Related Articles, Links](#)  
Laparoscopic Left Lateral Sectionectomy in Living Donors: Safety and Reproducibility of the Technique in a Single Center.  
Ann Surg. 2006 Nov;244(5):815-820.  
PMID: 17060776 [PubMed - as supplied by publisher]
- 3:** [Belizon A, Balik E, Feingold DL, Bessler M, Arnell TD, Forde KA, Horst PK, Jain S, Cekic V, Kirman I, Whelan RL.](#) [Related Articles, Links](#)  
Major abdominal surgery increases plasma levels of vascular endothelial growth factor: open more so than minimally invasive methods.  
Ann Surg. 2006 Nov;244(5):792-8.  
PMID: 17060773 [PubMed - in process]
- 4:** [O'rouke RW, Seltman AK, Chang EY, Reavis KM, Diggs BS, Hunter JG, Jobe BA.](#) [Related Articles, Links](#)  
A Model for Gastric Banding in the Treatment of Morbid Obesity: The Effect of Chronic Partial Gastric Outlet Obstruction on Esophageal Physiology.  
Ann Surg. 2006 Nov;244(5):723-733.  
PMID: 17060765 [PubMed - as supplied by publisher]
- 5:** [Obers T, Bjorkman S, Lindroos A, Maleckas A, Lonn L, Sjostrom L, Lonroth H.](#) [Related Articles, Links](#)  
Body Composition, Dietary Intake, and Energy Expenditure After Laparoscopic Roux-en-Y Gastric Bypass and Laparoscopic Vertical Banded Gastroplasty: A Randomized Clinical Trial.  
Ann Surg. 2006 Nov;244(5):715-722.



# MEDLINE形式で表示

□ 1: [Shakeri AB et al](#). Bipolar supernumerary renal a...[PMID: 17061029]

[Related Articles, Links](#)

PMID- 17061029

OWN - NLM

STAT- Publisher

DA - 20061024

PUBM- Print-Electronic

IS - 0930-1038 (Print)

DP - 2006 Oct 24

TI - Bipolar supernumerary renal artery.

AB - The variations of renal arteries are considered critical issues that surgeons should have thorough envision and appreciation of the condition. Variations of these vessels may influences urological, renal transplantation and laparoscopic surgeries. We present a case of bilateral accessory renal artery with a striking pre-hilar branching pattern encountered upon digital subtraction angiography (DSA) for imaging of the renal arteries of a healthy 30-year-old man, renal transplant donor. The right kidney received two renal arteries from the aorta including a main hilar and one lower polar. However, the left accessory artery while originated from the aorta, simultaneously, supplied both upper and lower renal poles following its pre-hilar division that replaced upper/apical and lower segmental arteries of the single main renal artery, respectively. The left main renal artery divided into two anterior and posterior segmental arteries. Whether this should be categorized either as an accessory hilar artery or a unique variant of renal arterial supply, the so-called bipolar supernumerary renal artery, is a matter of debate. We discuss possible embryologic origin and clinical aspects of accessory renal artery.

AD - Department of Radiology and Angiography, Tabriz University of Medical Sciences, Tabriz, Iran.

AU - Shakeri AB

AU - Shane Tubbs R

AU - Shoja MM

AU - Pezeshk P

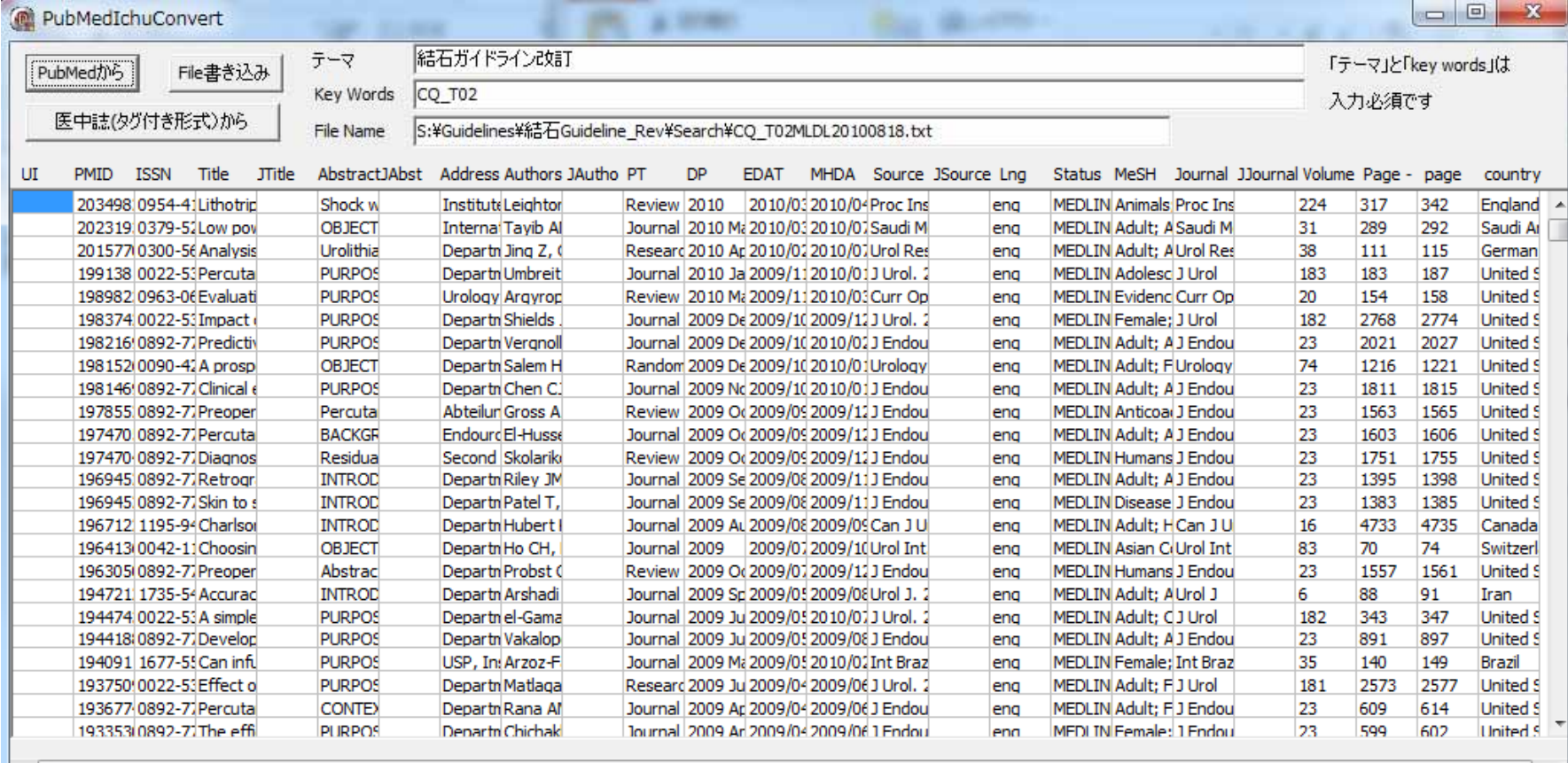
AU - Farahani RM

AU - Khaki AA

...

# ダウンロードしたファイルを加工

- PubMedはMEDLINE形式から変換
- データを保存する表にデータを流し込む



The screenshot shows the PubMedIchuConvert application window. The interface includes a menu bar with 'PubMedから' and 'File書き込み', a 'テーマ' field with '結石ガイドライン改訂', a 'Key Words' field with 'CQ\_T02', and a 'File Name' field with 'S:\#Guidelines#結石Guideline\_Rev#Search#CQ\_T02MLDL20100818.txt'. A table of PubMed records is displayed below, with columns for UI, PMID, ISSN, Title, JTitle, Abstract, JAbst, Address, Authors, JAutho, PT, DP, EDAT, MHDA, Source, JSource, Lng, Status, MeSH, Journal, JJournal, Volume, Page, page, and country.

| UI | PMID   | ISSN   | Title       | JTitle | Abstract  | JAbst | Address            | Authors | JAutho | PT      | DP   | EDAT    | MHDA    | Source   | JSource | Lng | Status | MeSH      | Journal  | JJournal | Volume | Page | page | country  |
|----|--------|--------|-------------|--------|-----------|-------|--------------------|---------|--------|---------|------|---------|---------|----------|---------|-----|--------|-----------|----------|----------|--------|------|------|----------|
|    | 203498 | 0954-4 | Lithotripsy |        | Shock w   |       | Institute Leighton |         |        | Review  | 2010 | 2010/03 | 2010/04 | Proc Ins |         | eng | MEDLIN | Animals   | Proc Ins |          | 224    | 317  | 342  | England  |
|    | 202319 | 0379-5 | Low pov     |        | OBJECT    |       | Internal Tayib Al  |         |        | Journal | 2010 | 2010/03 | 2010/03 | Saudi M  |         | eng | MEDLIN | Adult; A  | Saudi M  |          | 31     | 289  | 292  | Saudi Ar |
|    | 201577 | 0300-5 | Analysis    |        | Urolithia |       | Departn Jinq Z, C  |         |        | Researc | 2010 | 2010/04 | 2010/07 | Urol Res |         | eng | MEDLIN | Adult; A  | Urol Res |          | 38     | 111  | 115  | German   |
|    | 199138 | 0022-5 | Percuta     |        | PURPOS    |       | Departn Umbreit    |         |        | Journal | 2010 | 2009/11 | 2010/01 | J Urol   |         | eng | MEDLIN | Adolesc   | J Urol   |          | 183    | 183  | 187  | United S |
|    | 198982 | 0963-0 | Evaluati    |        | PURPOS    |       | Uroloqy Arqyrop    |         |        | Review  | 2010 | 2009/11 | 2010/03 | Curr Op  |         | eng | MEDLIN | Evidenc   | Curr Op  |          | 20     | 154  | 158  | United S |
|    | 198374 | 0022-5 | Impact      |        | PURPOS    |       | Departn Shields J  |         |        | Journal | 2009 | 2009/10 | 2009/12 | J Urol   |         | eng | MEDLIN | Female; J | Urol     |          | 182    | 2768 | 2774 | United S |
|    | 198216 | 0892-7 | Predicti    |        | PURPOS    |       | Departn Verqnoh    |         |        | Journal | 2009 | 2009/10 | 2010/02 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Adult; A  | J Endou  |          | 23     | 2021 | 2027 | United S |
|    | 198152 | 0090-4 | A prosp     |        | OBJECT    |       | Departn Salem H    |         |        | Random  | 2009 | 2009/10 | 2010/01 | Uroloqy  |         | eng | MEDLIN | Adult; F  | Uroloqy  |          | 74     | 1216 | 1221 | United S |
|    | 198146 | 0892-7 | Clinical    |        | PURPOS    |       | Departn Chen C     |         |        | Journal | 2009 | 2009/10 | 2010/01 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Adult; A  | J Endou  |          | 23     | 1811 | 1815 | United S |
|    | 197855 | 0892-7 | Preoper     |        | Percuta   |       | Abteilun Gross A   |         |        | Review  | 2009 | 2009/05 | 2009/12 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Anticoag  | J Endou  |          | 23     | 1563 | 1565 | United S |
|    | 197470 | 0892-7 | Percuta     |        | BACKGF    |       | Endourc El-Husse   |         |        | Journal | 2009 | 2009/05 | 2009/12 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Adult; A  | J Endou  |          | 23     | 1603 | 1606 | United S |
|    | 197470 | 0892-7 | Diagno      |        | Residua   |       | Second Skolariki   |         |        | Review  | 2009 | 2009/05 | 2009/12 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Humans    | J Endou  |          | 23     | 1751 | 1755 | United S |
|    | 196945 | 0892-7 | Retrogr     |        | INTROD    |       | Departn Riley JM   |         |        | Journal | 2009 | 2009/08 | 2009/11 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Adult; A  | J Endou  |          | 23     | 1395 | 1398 | United S |
|    | 196945 | 0892-7 | Skin to     |        | INTROD    |       | Departn Patel T    |         |        | Journal | 2009 | 2009/08 | 2009/11 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Disease   | J Endou  |          | 23     | 1383 | 1385 | United S |
|    | 196712 | 1195-9 | Charlso     |        | INTROD    |       | Departn Hubert I   |         |        | Journal | 2009 | 2009/08 | 2009/09 | Can J U  |         | eng | MEDLIN | Adult; H  | Can J U  |          | 16     | 4733 | 4735 | Canada   |
|    | 196413 | 0042-1 | Choosin     |        | OBJECT    |       | Departn Ho CH      |         |        | Journal | 2009 | 2009/07 | 2009/10 | Urol Int |         | eng | MEDLIN | Asian C   | Urol Int |          | 83     | 70   | 74   | Switzerl |
|    | 196305 | 0892-7 | Preoper     |        | Abstrac   |       | Departn Probst C   |         |        | Review  | 2009 | 2009/07 | 2009/12 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Humans    | J Endou  |          | 23     | 1557 | 1561 | United S |
|    | 194721 | 1735-5 | Accurac     |        | INTROD    |       | Departn Arshadi    |         |        | Journal | 2009 | 2009/05 | 2009/08 | Urol J   |         | eng | MEDLIN | Adult; A  | Urol J   |          | 6      | 88   | 91   | Iran     |
|    | 194474 | 0022-5 | A simple    |        | PURPOS    |       | Departn el-Gama    |         |        | Journal | 2009 | 2009/05 | 2010/07 | J Urol   |         | eng | MEDLIN | Adult; C  | J Urol   |          | 182    | 343  | 347  | United S |
|    | 194418 | 0892-7 | Develop     |        | PURPOS    |       | Departn Vakalop    |         |        | Journal | 2009 | 2009/05 | 2009/08 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Adult; A  | J Endou  |          | 23     | 891  | 897  | United S |
|    | 194091 | 1677-5 | Can inf     |        | PURPOS    |       | USP, In: Arzoz-F   |         |        | Journal | 2009 | 2009/05 | 2010/02 | Int Braz |         | eng | MEDLIN | Female; I | Int Braz |          | 35     | 140  | 149  | Brazil   |
|    | 193750 | 0022-5 | Effect o    |        | PURPOS    |       | Departn Matlaqa    |         |        | Researc | 2009 | 2009/04 | 2009/06 | J Urol   |         | eng | MEDLIN | Adult; F  | J Urol   |          | 181    | 2573 | 2577 | United S |
|    | 193677 | 0892-7 | Percuta     |        | CONTEX    |       | Departn Rana Af    |         |        | Journal | 2009 | 2009/04 | 2009/06 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Adult; F  | J Endou  |          | 23     | 609  | 614  | United S |
|    | 193353 | 0892-7 | The effi    |        | PURPOS    |       | Departn Chichak    |         |        | Journal | 2009 | 2009/04 | 2009/06 | J Endou  |         | eng | MEDLIN | Female; J | J Endou  |          | 23     | 599  | 602  | United S |

# ダウンロードしたファイルの変換

- 医中誌はタグ付き形式から変換
- 同じ形式の表の日本語が入るカラムに入れる

PubMedIchuConvert

PubMedから File書き込み

テーマ 結石ガイドライン改訂

Key Words CQ\_T02

「テーマ」と「key words」は入力必須です

医中誌(タグ付き形式)から

File Name S:\Guidelines\結石Guideline\_Rev\Search\CQ\_T02ICDL20100902.txt

| UI     | PMID | ISSN    | Title   | JTitle | AbstractJAbst | Address  | Authors | JAutho | PT | DP      | EDAT    | MHDA    | Source   | JSource | Lng | Status | MeSH     | Journal  | JJournal | Volume | Page - page | country |
|--------|------|---------|---------|--------|---------------|----------|---------|--------|----|---------|---------|---------|----------|---------|-----|--------|----------|----------|----------|--------|-------------|---------|
| 201012 |      | 0385-23 | 泌尿器     | 泌尿器    | 東京慈           | 清田浩      | 解説      |        |    | 2010.03 | 2010-04 | 2010-05 | 臨床泌      | 日本語     |     |        | Cephali  | 臨床泌      | 64       | 227    | 232         |         |
| 200914 |      | 0385-23 | 【イラスト   | 尿路変    | 名古屋           | 橋本良      | 解説/特    |        |    | 2009.04 | 2009-04 | 2009-05 | 臨床泌      | 日本語     |     |        | 開腹術      | 臨床泌      | 63       | 263    | 266         |         |
| 200910 |      | 0914-96 | 【ESWL   | 2004~  | 医仁会           | 山田仁      | 原著論     |        |    | 2008.10 | 2008-12 | 2009-04 | Japanes  | 日本語     |     |        | X線診断     | Japanes  | 21       | 282    | 286         |         |
| 200833 |      | 0919-81 | 腎下極     | 腎結石    | 医仁会           | Nishizav | 原著論     |        |    | 2008.05 | 2008-11 | 2008-12 | Internat | 英語      |     |        | *X線透     | Internat | 15       | 399    | 402         |         |
| 200815 |      | 0914-96 | 【エクス    |        | 浜松医           | 妻谷荘      | 解説/特    |        |    | 2007.10 | 2007-12 | 2008-06 | Japanes  | 日本語     |     |        | 病的疾      | Japanes  | 20       | 194    | 198         |         |
| 200813 |      | 0288-62 | 完全珊     | 38歳男   | 倉敷成           | 石戸則      | 原著論     |        |    | 2008.03 | 2008-03 | 2008-05 | 日本レ      | 日本語     |     |        | *レーザ     | 日本レ      | 28       | 383    | 387         |         |
| 200810 |      | 0029-07 | 膀胱結     | 1994年  | 北村山           | 富田祐      | 原著論     |        |    | 2007.11 | 2008-01 | 2008-04 | 西日本      | 日本語     |     |        | 碎石術      | 西日本      | 69       | 627    | 630         |         |
| 200810 |      | 0018-19 | クエン酸    | 62歳女   | 国際親           | 長島政      | 原著論     |        |    | 2007.11 | 2008-01 | 2008-04 | 泌尿器      | 日本語     |     |        | *碎石術     | 泌尿器      | 53       | 809    | 812         |         |
| 200808 |      | 0919-81 | 20mm以   | 体外術    | 埼玉医           | Yoshida  | 原著論     |        |    | 2007.07 | 2008-01 | 2008-03 | Internat | 英語      |     |        | 感度と特     | Internat | 14       | 665    | 667         |         |
| 200734 |      | 0914-61 | Dornier | 【目的】   | 東京歯           | 島憲一      | 原著論     |        |    | 2007.10 | 2007-12 | 2007-12 | 泌尿器      | 日本語     |     |        | Diclofen | 泌尿器      | 20       | 1295   | 1298        |         |
| 200728 |      | 0368-49 | 周産期     | 27歳初   | 倉敷中           | 公平直      | 原著論     |        |    | 2007.03 | 2007-08 | 2007-11 | 倉敷中      | 日本語     |     |        | 碎石術      | 倉敷中      | 69       | 85     | 89          |         |
| 200725 |      | 0915-25 | 当院に     | 尿管結    | 釧路市           | 青柳俊      | 原著論     |        |    | 2007.03 | 2007-05 | 2007-10 | 市立釧      | 日本語     |     |        | *碎石術     | 市立釧      | 19       | 9      | 13          |         |
| 200718 |      | 1349-65 | 【見ると    |        | 北海道           | 節田要      | 解説/特    |        |    | 2007.05 | 2007-06 | 2007-07 | 泌尿器      | 日本語     |     |        | *外科者     | 泌尿器      | 12       | 465    | 469         |         |
| 200711 |      | 0021-52 | 結石分     | (目的)   | 旭川医           | 奥山光      | 原著論     |        |    | 2007.01 | 2007-03 | 2007-05 | 日本泌      | 日本語     |     |        | Calcium  | 日本泌      | 98       | 9      | 16          |         |
| 200706 |      | 0914-96 | 【いま尿    |        | 名古屋           | 安井孝      | 解説/特    |        |    | 2006.05 | 2006-11 | 2007-03 | Japanes  | 日本語     |     |        | *碎石術     | Japanes  | 19       | 148    | 153         |         |
| 200706 |      | 0914-96 | 【いま尿    |        | 富良野           | 山口聡      | 解説/特    |        |    | 2006.05 | 2006-11 | 2007-03 | Japanes  | 日本語     |     |        | *血液精     | Japanes  | 19       | 141    | 147         |         |
| 200632 |      | 0029-07 | クローン    | 39歳男   | 佐賀大           | 真崎拓      | 原著論     |        |    | 2006.08 | 2006-10 | 2006-12 | 西日本      | 日本語     |     |        | *Crohn   | 西日本      | 68       | 378    | 380         |         |
| 200631 |      | 1341-07 | 小児尿     | 小児尿    | 福岡大           | 横山裕      | 原著論     |        |    | 2006.07 | 2006-10 | 2006-12 | 日本小      | 日本語     |     |        | Calcium  | 日本小      | 14       | 179    | 184         |         |
| 200624 |      | 0289-45 | 第三世     | 第三世    |               | 河野学      | 原著論     |        |    | 2002.03 | 2006-02 | 2006-10 | 大阪市      | 日本語     |     |        | Calcium  | 大阪市      |          | 511    | 512         |         |
| 200623 |      | 0385-23 | 脊髄空     | 52歳男   | 組合立           | 西田智      | 原著論     |        |    | 2006.05 | 2006-08 | 2006-10 | 臨床泌      | 日本語     |     |        | 留置カ      | 臨床泌      | 60       | 413    | 415         |         |
| 200621 |      | 0914-96 | 術中利     | 体外術    | 南部徳           | 向山秀      | 原著論     |        |    | 2006.04 | 2006-07 | 2006-09 | Japanes  | 日本語     |     |        | Furosen  | Japanes  | 19       | 125    | 128         |         |
| 200619 |      | 1346-96 | 体外術     | 59歳男   | 徳島赤           | 笠井利      | 原著論     |        |    | 2006.03 | 2006-07 | 2006-08 | 徳島赤      | 日本語     |     |        | 血腫(病     | 徳島赤      | 11       | 77     | 81          |         |
| 200618 |      | 0914-61 | 尿管      | 65歳の   | 東大宮           | 岡田栄      | 原著論     |        |    | 2006.04 | 2006-06 | 2006-08 | 泌尿器      | 日本語     |     |        | *碎石術     | 泌尿器      | 19       | 543    | 546         |         |
| 200615 |      | 0029-07 | 酸性尿     | 症例1例   | 久留米           | 清水志      | 原著論     |        |    | 2006.03 | 2006-06 | 2006-07 | 西日本      | 日本語     |     |        | 下割術      | 西日本      | 68       | 118    | 122         |         |



# 重複チェック

- ISSN, Volume, Pageが同じレコードを抽出

The screenshot shows a web application window titled "DuplicateCheckForm". At the top, there are input fields for "対象テーブル" (Target Table) set to "SearchResult", "ISSN:" (0919-8172), "Volume:" (10), and "Page:" (411). Below this, two search results are displayed in a table-like format.

| 対象テーブル       | ISSN      | Volume | Page |
|--------------|-----------|--------|------|
| SearchResult | 0919-8172 | 10     | 411  |
| SearchResult | 0919-8172 | 10     | 411  |

The first result includes the following details:

- 結石ガイドライン改訂** (Update of Guidelines for Kidney Stones)
- AIM:** The aim of the present study was to investigate the composition of urinary tract stones in patients from Okinawa, the most southern island group of Japan. **METHODS:**
- Int J Urol.** 2003 Aug;10(8):411-5.
- Urolithiasis in Okinawa, Japan: a relatively high prevalence of uric acid stones.**
- Hossain RZ, Ogawa Y, Hokama S, Morozumi M, Hatano T**
- Adolescent; Adult; Age Distribution; Aged; Aged, 80 and over; Calcium Oxalate/metabolism; Calcium Phosphates/metabolism; Child; Child,**
- Buttons: [こちらを](#), [こちらへ](#),  この論文を入れない,  **チェック済み**

The second result includes the following details:

- 結石ガイドライン改訂** (Update of Guidelines for Kidney Stones)
- 日本最南の島、沖縄の12病院で尿結石1816例 (男1323例、女493例、平均53±15.3歳)について、コンピュータ赤外線分光光度計によって結石の化学的組成を分析したpure stonesは全体**
- International Journal of Urology;10(8):411-415.**
- 日本の沖縄における尿結石 尿酸結石の有病率が比較的高い**
- Hossain Rayhan Zubair, Ogawa Yoshihide, Hokama Sanehiro, Morozumi Makoto, Hatano Tadashi**
- 赤外分光分析; Uric Acid; 尿路結石(疫学); 有病率; 年齢分布; 沖縄県**
- Buttons: [こちらを](#), [こちらへ](#),  この論文を入れない,  **チェック済み**

At the bottom of the window, there is a status bar showing "レコード: 38 / 158" and "フィルターなし 検索".

# データを統合

DuplicateCheckForm

対象テーブル: SearchResult    ISSN: 0919-8172    Volume: 10    Page: 411

|   |   |   |
|---|---|---|
| 結石ガイドライン改訂<br>CQ_E02<br>12887361<br>0919-8172 10 411 415<br>Urolithiasis in Okinawa, Japan: a relatively high prevalence of uric acid stones.<br>日本の沖縄における尿結石 尿酸結石の有病率が比較的高い<br>Department: Journal A eng<br>07/31 5:00:00   01/16 5:00:00   2003 Aug | AIM: The aim of the present study was to investigate the composition of urinary tract stones in patients from Okinawa, the most southern island group of Japan. METHODS:<br>日本最南の島沖縄の12病院で尿結石1816例(男1323例,女493例,平均53±15.3歳)について,コンピュータ赤外線分光光度計によって結石の化学的組成を分析したpure stonesは全体<br>Hossain RZ, Ogawa Y, Hokama S, Morozumi M, Hatano T.<br>HossainRayhan Zubair, OgawaYoshihide, HokamaSanehiro, MorozumiMakoto, Hatano Tadashi | Int J Urol. 2003 Aug;10(8):411-5,<br>International Journal of Urology;10(8):411-415.<br>Int J Urol,<br>International Journal of Urology<br>Adolescent; Adult; Age Distribution; Aged; Aged, 80 and over; Calcium Oxalate/metabolism; Calcium Phosphates/metabolism; Child; Child.<br>こちらを <b>こちらへ</b> この論文を入れない <input type="checkbox"/><br><b>チェック済み</b> <input checked="" type="checkbox"/> |
| 結石ガイドライン改訂<br>CQ_E02<br>2004108214<br>0919-8172 10 411 415<br>日本の沖縄における尿結石 尿酸結石の有病率が比較的高い<br>琉球大学 原著論文 英語<br>2003/11/12 2004/04/16 2003.08  | AIM: The aim of the present study was to investigate the composition of urinary tract stones in patients from Okinawa, the most southern island group of Japan. METHODS:<br>日本最南の島沖縄の12病院で尿結石1816例(男1323例,女493例,平均53±15.3歳)について,コンピュータ赤外線分光光度計によって結石の化学的組成を分析したpure stonesは全体<br>HossainRayhan Zubair, OgawaYoshihide, HokamaSanehiro, MorozumiMakoto, Hatano Tadashi   | International Journal of Urology;10(8):411-415.<br>International Journal of Urology<br>赤外分光分析; Uric Acid; 尿結石(疫学); 有病率; 年齢分布; 沖縄県<br>こちらを <b>こちらへ</b> この論文を入れない <input checked="" type="checkbox"/><br><b>チェック済み</b> <input checked="" type="checkbox"/>  |

レコード: 38 / 158    フィルターなし    検索

# PubMedでのみヒットした論文

|   |   |
|---|---|
| SearchResult01OnePageForm                               |   |
| Project   | 結石ガイドライン改訂  |
| Database  | CQ_E01  |
| UI  | PMID 20400141 ISSN 0022-5347  |
| Title   | Diabetic kidney stone formers excrete more oxalate and have lower urine pH than nondiabetic stone formers.  |
| タイトル  |   |
| Abstract  | PURPOSE: The epidemiological relationship between nephrolithiasis and type 2 diabetes mellitus is well-known. Patients with diabetes mellitus are at increased risk for nephrolithiasis and those with nephrolithiasis are at risk for diabetes mellitus. We examined 24-hour urine composition in stone formers with and without diabetes mellitus. MATERIALS AND METHODS: We retrospectively reviewed a database of 462 stone forming patients to examine the relationship between hypertension and 24-hour urine composition. Multivariate linear regression models were adjusted for age, race, gender, body mass index, hypertension, relevant medications and 24-hour urine constituents. RESULTS: On univariate analysis |
| サマリー  |   |
| Authors   | Eisner BH, Porten SP, Bechis SK, Stoller ML   |
| 著者  |   |
| Address   | University of California-San Francisco, San Francisco, California, USA. eisnerbh@urology.ucsf.edu   |
| Source  | J Urol. 2010 Jun;183(6):2244-8. Epub 2010 Apr 18.   |
| 雑誌  |   |
| PT  | Journal Article   |
| 言語  | eng   |
| 必要 <input type="checkbox"/>                             | <input type="button" value="←"/> <input type="button" value="→"/> コメント <input type="text" value=""/>  |
| 不要 <input type="checkbox"/>                             | 通し番号 <input type="text" value="5"/> <input type="checkbox"/>  |
| この論文を入れない   |   |
| 「必要」か「不要」かどちらかをチェックしてください。この論文にコメントがある場合はコメントを記入してください。 |   |
| <input type="button" value="↓"/>                        |   |
| レコード: 5 / 16154   | フィルター適用 検索  |

# 医中誌でのみヒットした論文

SearchResult01OnePageForm

|   |   |         |                                    |
|---|---|---------|------------------------------------|
| Project   | 結石ガイドライン改訂  |         |                                    |
| Database  | CQ_P11  |         |                                    |
| UI  | 1984024738  | PMID    |                                    |
|   |   | ISSN    | 0021-5287                          |
| Title   |   |         |                                    |
| タイトル  | 再発性尿路結石症 その原因と治療  |         |                                    |
| Abstract  |   |         |                                    |
| サマリー  | 過去16年間に経験した286例の尿路再発結石のうち158例について検討を行なった初発結石より再発までの期間は1年以内15.2%2年以内31.7%5年以内68.4%であり、平均5年7ヶ月であった。結石成分は複酸Ca+燐酸Caが最も多く38%ついで複酸Ca 20%であった。原因疾患は高Ca尿44.7%高尿酸尿41.7%低P血27.2%尿路感染21.5%高尿酸血14.6%原発性副甲状腺機能亢進症3.2%等が見られた。再発結石で高尿酸尿を示す群の24時間尿中Ca排泄量は対照とした再発でない結石群またはコントロール群と比較して有意に増加し、再発結石中低P血を示した群の24時間尿中Ca排泄量も対照群より有意に増加した。以上より再発結石のあるものこま幾つもの塩類過排泄が認められ、複雑な代謝異常とみなし得た。再発予防効果では高Ca尿に対するMe剤投与では無効であったが、高 |         |                                    |
| Authors   |   |         |                                    |
| 著者  | 村上光右, 山口邦雄, 森偉久夫  |         |                                    |
| Address   | 千葉大学 泌尿器科   |         |                                    |
| Source  |   |         |                                    |
| 雑誌  | 日本泌尿器科学会雑誌.73(11):1402-1409.  |         |                                    |
| PT  | 原著論文  |         |                                    |
| 言語  | 日本語   |         |                                    |
| 必要  | <input type="checkbox"/>  | コメント    | <input type="text"/>               |
| 不要  | <input type="checkbox"/>  |         |                                    |
|   |   | 通し番号    | 16156                              |
|   |   |         | <input type="checkbox"/> この論文を入れない |
| 「必要」か「不要」かどちらかをチェックしてください。この論文にコメントがある場合はコメントを記入してください。 |   |         |                                    |
| <input type="button" value="戻る"/>                       |   |         |                                    |
| レコード:   | 16154 / 16154   | フィルター適用 | 検索                                 |

医中誌では  
「タグ付き」で  
ダウンロード



# 重複チェックでデータ統合した論文

| SearchResult01OnePageForm                               |  |
|---|--|
| Project   | 結石ガイドライン改訂   |
| Database  | CQ_E02   |
| UI  | PMID 12887361 ISSN 0919-8172   |
| Title   | Urolithiasis in Okinawa, Japan: a relatively high prevalence of uric acid stones.  |
| タイトル  | 日本の沖縄における尿結石 尿酸結石の有病率が比較的高い  |
| Abstract  | AIM: The aim of the present study was to investigate the composition of urinary tract stones in patients from Okinawa, the most southern island group of Japan. METHODS: The study was conducted by 12 hospitals in Okinawa. A total of 1816 urinary tract calculi were obtained from 1816 patients (1323 males; 493 females). The patients had a mean age of 53 +/- 15.3 years (mean +/- SD). The calculi were examined to determine their chemical composition. Stone samples were analyzed by computed infrared spectrophotometer. RESULTS: Pure stones comprised 58.4% of the total, with calcium oxalate stones accounting for 40% (21% monohydrate [whewellite]; 6.6% dihydrate [weddellite]; and 12.4% combined |
| サマリー  | 日本最南の島、沖縄の12病院で尿結石1816例(男1323例,女493例,平均53±15.3歳)についてコンピュータ赤外線分光光度計によって結石の化学的組成を分析した。pure stonesは全体の54%でCa oxalate石が40%を占め、monohydrate(whewellite)21%、dihydrate(weddellite)6.6%、monohydrate+dihydrate複合が12.4%であった。尿酸/尿酸塩結石は9.6%、リン酸Ca5.1%、struvite石3.7%、その他41.6%は尿酸石とその他の複合であった。即ち尿酸Ca石が計81.6%であったが、尿酸/尿酸塩石が15.8%を占め、比較的高濃度であった。高蛋白食や飲酒の増加が関与しているものと考えられた。  |
| Authors   | Hossain RZ, Ogawa Y, Hokama S, Morozumi M, Hatano T,   |
| 著者  | HossainRayhan Zubair, OgawaYoshihide, HokamaSanehiro, MorozumiMakoto, HatanoTadashi  |
| Address   | Department of Urology, Faculty of Medicine, University of the Ryukyus, Nishihara, Okinawa, Japan. k008744@   |
| Source  | Int J Urol. 2003 Aug;10(8):411-5.  |
| 雑誌  | International Journal of Urology;10(8):411-415.  |
| PT  | Journal Article Association  |
| 言語  | eng  |
| 必要 <input checked="" type="checkbox"/>                  | <input type="button" value="←"/> <input checked="" type="button" value="→"/> コメント <input type="text"/>   |
| 不要 <input type="checkbox"/>                             | 通し番号 1461 <input type="checkbox"/>   |
| この論文を入れない <input type="checkbox"/>                      |  |
| 「必要」か「不要」かどちらかをチェックしてください。この論文にコメントがある場合はコメントを記入してください。 |  |
| <input type="button" value="↑"/>                        |  |
| レコード: 2 / 2   | フィルター適用 検索   |

# 検索結果をPDFファイルに変換

- 1論文を1ページにしたPDFを作成
- CQごとにファイル作成
- 担当者に送付

検索論文評価フォーム

結石ガイドライン改訂

CQ\_E01

番号: 1

タイトル: Acute pyelonephritis can have serious complications.

著者名: Shields J, Maxwell AP

雑誌等: Practitioner. 2010 Apr;254(1728):19, 21, 23-4, 2.

発行日: 2010 Apr

論文: Journal Article

Abstract: Urinary tract infection (UTI) may predominantly involve the lower urinary tract, i.e. acute cystitis, or upper urinary tract consisting of the renal pelvis and kidney, i.e. acute pyelonephritis. The incidence of acute pyelonephritis is higher in young women than in men but the incidence in men over 65 is similar to that in older women. Women have up to a 10% risk of recurrent acute pyelonephritis in the year following a first acute episode. The equivalent risk in men is 6%. Acute pyelonephritis may be uncomplicated and resolve without serious sequelae. A minority of episodes may be complicated by acute kidney injury, papillary necrosis, renal or perinephric abscess or the development of emphysematous pyelonephritis. Acute pyelonephritis is generally caused by microorganisms ascending from the urethra via the bladder into the upper urinary tract. Rarely the kidney may be seeded by blood-borne infection. E. coli is the most common uropathogen causing pyelonephritis accounting for 70-90% of infections. Species of Enterococci, Klebsiella, Pseudomonas, Proteus and Staphylococci are responsible for the remaining infections. There is a rising incidence in the community of UTI with bacteria that produce extended spectrum beta-lactamase (ESBL) enzymes. These ESBL bacteria have developed resistance to antibiotics such as penicillin, cephalosporins and increasingly to quinolones. Risk factors for uncomplicated acute pyelonephritis include recent sexual intercourse, acute cystitis, stress incontinence and diabetes and for complicated acute pyelonephritis include pregnancy, diabetes, anatomical abnormalities of the urinary tract and renal calculi.

抄録:

# データベースソフトでの管理

---

- 利点

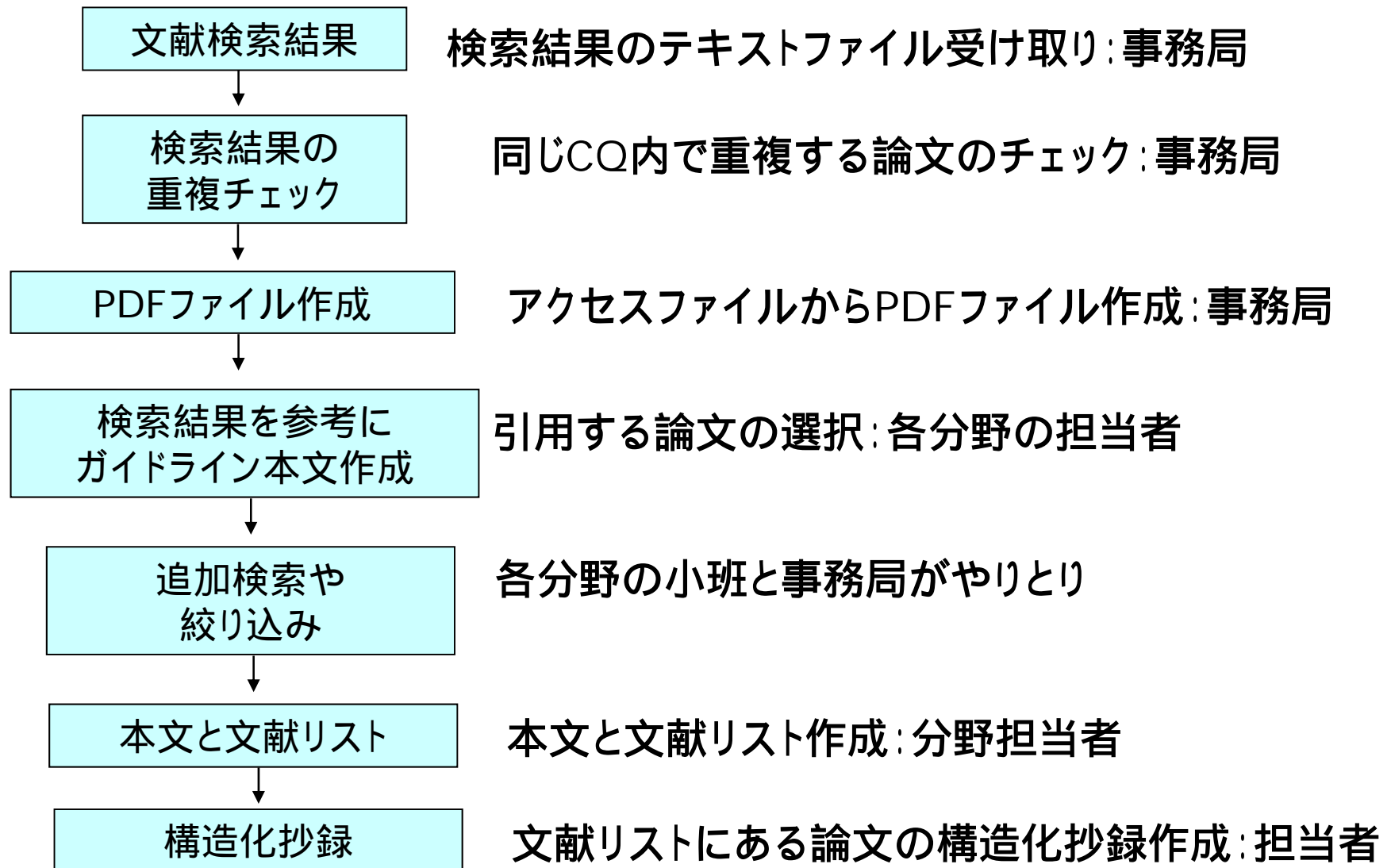
- 重複チェックが可能
- 検索結果、取捨選択結果が履歴として残る
  - 改訂時の文献検索の対象を明確にできる
- 検索結果をエクセルの表にはき出したり、書式を作ってPDFファイルにすることができる

- 欠点

- 最低限のデータベースに関する知識が必要
- ソフトウェアのバージョンが変わるとプログラムの動作が保証できない
- 今のところ、Microsoft Accessのみ対応

# 文献検索班の作業まとめ

## (膀胱癌診療ガイドラインの場合)



# ガイドライン作成と図書館

---

- 泌尿器癌の各領域では、文献検索の際に専門家の協力が不可欠であると認識
- 検索漏れを極力減らす検索式
- 適切な絞り込み
- 検索結果から、キーワードなどを変更して再検索
- “Evidence-Based” と言うには、協力は必須
- ASCOの抄録のように検索出来ないものもあり
- 臨床家と検索の専門家との協調関係が重要

# 良い協調関係のために

---

- 日本医学図書館協会と日本泌尿器科学会はガイドラインごとに「診療ガイドライン作成支援契約覚書」を作成
  - 契約して支援依頼
  - 学会からお支払い
- 
- 質の高いガイドラインを作るためには、検索の専門家の協力が必須である事の啓蒙
  - CQの作り方にも踏み込んだ助言
  - エビデンスレベル評価や、構造化抄録作成支援も

# まとめ

---

- 診療ガイドライン作成には文献検索が必須
- 効率的で漏れのない文献検索が必要
- そのためには、検索の専門家に協力を依頼
- 泌尿器科領域では、以前より依頼
- 今後も改訂作業がつづく
- 良好な協調関係の維持とお互いのスキルアップが重要
- 可能であれば、さらに踏み込んだ支援を期待